

松田好花 舞台「はがきの王様」出演へ

「ANN」モチーフ作品

松田好花(日向坂46)が舞台「はがきの王様」に出演することが決定した。

本作は、お笑い芸人としてデビューし、その後ラジオ・テレビ番組の構成作家などを経て、映画「サバカンS A B A K A N」の監督やテレビドラマ「半沢直樹」、「サンクチュアリー-聖域-」などの脚本を手掛ける金沢知樹氏の原点ともなる、青年期の『深夜ラジオ』の体験をベースに、ある男の再生と勇気をつづる物語。また、舞台上演に先駆け、物語の前日譚となるラジオドラマもニッポン放送でオンエアするマルチプラットフォームプロジェクト。

松田は主人公・田中浩司の幼馴染、嬉里弥生の高校生時代役を演じる。松田は出演について「私自身約7年ぶ

りの舞台となるのですが、そんな久々の機会に大好きなラジオが題材となったこの舞台に携わらせていただけること、ご縁を感じ、とても光栄に思います！私自身ニッポン放送でパーソナリティーをさせていたのですが、ハガキ職人の皆さんは日々お世話になっているので、それがどのように舞台上で繰り広げられるのかとても楽しみです！そして、今回一緒にさせていただくキャストの皆様、スタッフの皆様から沢山のことを学び吸収して、よりよいものをお届けできるよう一杯精進してまいります。よろしくお願いいたします。コメントを寄せている。

本作には松田のほか、主人公の元ハガキ職人・田中浩司を松岡昌宏が演じる。さらに、浩司の幼馴染で初恋の同級生・嬉里弥生役として、パーソナリティー経験のある黒谷友香が起用された。そして、渡辺裕太、榎尾ユウスケ(かもめんたる)、栗原萌実、高乃麗といった実力俳優が登場。伝説のパーソナリティー・檜崎幸之助役として、32年前に「電気グルーヴのオールナイトニッポン」でリアルにオールナイトニッポンのパロディを演じていたピエール瀧が出演する。

全日空機内番組に乃木坂46起用 来月から展開

全日本空輸は、同社が提供するエンターテインメントサービスの一環として、機内オーディオ番組「乃木坂46 Special」を提案することを発表し、川崎(※たつき) 桜をゲストに迎えることを発表した。

番組では今月発売のアルバム「My respect」に収録される楽曲から8曲を選曲



改めて皆様、アンコールありがとうございます。今からお話をさせていただきます。今日この会場にお越しの皆様、配信で見えださっている皆様、今日という日に、私の卒業に心を寄せてくださった皆様、本当にありがとうございます。

このドレスにあしらわれている緑の柄には、希望を持ち得るだとか、新たな気持ち、といった言葉があります。ドレスのデザイン案を出してください。実際に、言葉まであわせて伝えてくださり、細部まで時間をかけてくださった。こんなにも素敵なドレスを仕上げてくださったこと、とても感謝しています。

ドレスを身にまとい、卒業セレモニーの中でも、本当の本当に最後まで、そこから向き合おうと、スピーチを始めてしまおうと、本当に終わってしまおうと実感してしまおうと。こうしてスピーチを考えると、日付が変わって、今日になってしまいましたが、その場で、アドリブでしゃべれたらいいかなとか、妄想したりもしてみたのですが、冷静になって

考えてみると、卒業セレモニー当日に、自分は強い涙腺も、余裕も持ち合わせられないはずがなく、後悔してしまう気がした。言い残すことがないように手紙にまとめることにしました。少し長くなってしまいましたが、寝ずに聞いてくださると嬉しいです(観客の笑い拍手)。

好きという気持ちと好奇心がきっかけで受けた、けやき坂46追加メンバーオーディション。アイドルや芸能界をはじめから目指したというわけではなかった私ですが、この世界でアイドルとして活動して、気づけば約8年半経っていました。これだけの期間続けることができたのは、これからの世界で頑張りたいと思うことができたのも、けやき坂46、日向坂46のメンバーになれたからだなと思っています。そして、ここで活動することがあまりに楽しく幸せで、やりがいを感じていたからだと思います。そう感じることもできたのは、出会えたメンバーや共演者の皆様、スタッフさん、支えてくれた家族や友人、そしてフアンの皆様が、素敵な人であふれていたからだと思います。そして、この場所

でたくさん夢をかなえて、この場所ですることはいくらもありません。そう思うことができたので、次に進む決意をしました。

卒業スピーチ全文・メンバー挨拶

つて、動けなくなってしまう。私も頑張ろうと思うことができなくなりました。これからの姿勢を忘れずに、たくさん先輩のことも頼って、大きな背中を見て、たくさん成長していただく。たくさんさんの希望をくれてありがとうございます。

三期生。先輩や同期の卒業を迎えるたびに、寂しさが大きくなっていく中で、三期生の人柄と愛情深さに日々支えられていました。みんな同じように寂しさや不安を抱えていたはずなのに、私の方が支えられてしまう瞬間があったりもして、同期のように感じて、三期生には弱いところをたくさん見せてしまっ

井上和 搜索の「傘の人」見つかる 井「絶対にこの子なんです！」



井上和 (乃木坂46)

井上和(乃木坂46)が28日深夜放送の「乃木坂46のオールナイトニッポン」(ニッポン放送、水曜25時)に出演。「乃木坂工事中」(テレビ東京系、日曜24時15分)内の企画「B級ニュース大賞2026」で紹介していた「フアンの子から借りた傘」についてのエピソードについて、進展があったことを明かした。

井上和は「B級ニュース大賞」で、昨年9月にテーマパークを訪問した際、雨が降り出した。

矢田萌華 コラム始まる 「わたしの居場所」毎月27日更新

矢田萌華(乃木坂46)が、秋田魁新報社が提供する電子版媒体「さきがけ電子版」でコラム「わたしの居場所」の連載を開始した。

同社の「秋田が好きだ!」キャンペーンのキヤラクターを務める矢田が「わたしの居場所」と語る地元・秋田と昨年加入した乃木坂46。二つの居場所に通じるエピソードを毎月27日に発信する。矢

田は27日公開となった一本目のコラムの中で「現在乃木坂46として活動させていただく中で感じる思いを、今の素直な言葉でお届けしていきます」と思っています。乃木坂46を好きでいてくださる皆さんはもちろん、現在展開中の『秋田が好きだ!』キャンペーンを通して私のことを知ってくださった地元秋田の皆さんにも、私の居

たなと思います。こんな先輩でごめんね。そして、支えてくれた本当にありがとう。フアンの方は信じてくれたそうだし、三期生にもそだと言われてしまっているのですが、私には三期生全員が、仏に見えています。バラエティーになるとまた別ですが、普段の活動において、取り乱してその場の人を困らせた日とか、人に迷惑をかけることが全くなくて、とにかく安心感を与えてくれる存在でした。私は三期生には誰よりも自信を持って、堂々とそこにあり続けてほしいと思います。先頭に立って、みんなに頼もしい背中を見せてあげてください。そして同期の二期生。卒業していったみんなの活躍も、なおみくの活躍も常に意識しながら活動に励んでいました。同期の存在は特別で、離れていても近くにいるのも、刺激をもらう日々です。プライベートで集まっても、きつと結局お仕事の話をしてしまいがちなところが、容易に想像できます。二期生として9人で活動できたこと、とても誇りに思います。

そして、なおみく。たくさんふざけたことばかりという私で、頼りなかったかもしれないけれど、あまりに二人が頼もしすぎて、ずっとヘラヘラしちゃいました。気を許せる関係で温かくて、すごく支えられました。これからの日向坂を頼んだよ。またすぐご飯にも行こうね。

そして一期さん。私にとつて唯一の先輩、一期生の皆様のご卒業されてから、ぼつかりと心に穴が開いたような気持ちで。そこでようやく、これまでできてきたこと、この重大さや偉大さを、ひしひしと感じるようになってきました。

私たちに大きな背中を見せ続けてきてくださり、本当にあり

がとうございました。私が卒業発表した後、連絡をくださった方がいたり、「当日は荷物が多くなるからキャリーケースで行きな!」と突然アドバイスをくださった方がいたり。一期さんには卒業された後もたくさん気にかけてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。これからたくさん先輩させてください。

友達みんな。アイドルとしてではなく、ひとりの人間、松田好花としてフラットに接してくれて、そこに救われたことがたくさんありました。休みの日にたくさん連れ出してきて、ライブも毎回のように来てくれて、本当にありがとう。これからもよろしくね。

家族のみんな。卒業セレモニーで東京に来てくれるとなつて、いつもは来てくれと私が頼むくせに、なんで忙しい時間がない時に泊まるんだ、とつっぱねてしまつてごめんね。今日以外にもこんなことばかり言ってしまうような気がします。それでも、何も文句を言うことなく、美味しいご飯を作ってくれて、お家に帰ったからお風呂を沸かしておいてくれて、誰がこんな人を好きになるんだよって思うような私をさらけ出しても、全てを愛で包み込んでくれました。本当にありがとう。

そして、応援してくださいましたファンの皆様。皆様がアイドル松田好花に期待してくださいましたこと、アイドル松田好花自身が変われた瞬間、救われた瞬間がたくさんありました。特にやりたいこともなく、とりあえずちゃんと就職できるように、それなりに頑張ろうと思つていた時とは比べ物にならないほど、自発的にやりたいこ

松田好花 卒業セレモニー

とが増えて、夢を抱けるようになりまし。器用貧乏だと言われてしまふことさえも、武器にしてしまえばいいんだって思えちゃうほど、いつの日からかできるようになったので、常に温かくポジティブな言葉をかけ続けてくださる皆様の存在が本当に大きかったです。皆様の期待に応えられるアイドルになりました。喜ぶ顔が見たい。それが私の頑張る理由でした。明るい未来を夢見れるようになったのは、フアンの皆様の応援があったからこそです。本当にありがとうございました。

今日は卒業セレモニーということで、ステージに立つのは最後となり、別れを感じ寂しく思つてしまふますが、今日のこのセレモニーを通して、皆様からこの日向坂への希望を感じ取ってもらえていたら、とてもうれしいです。

いかがでしたでしょうか。日向坂、最高ですよ(ファンからの長い拍手)。ありがとうございます。私自身も、未来への希望を持ち得ることができた、そんな日になったと感じています。新たな気持ちで、また歩み始める覚悟ができました。

卒業セレモニーは終わってしまふますが、2月いっぱいまでは日向坂46として、活動を残り1ヶ月間全うして、全て出し切りたいと思つておりますので、最後までどうぞよろしくお願ひします(拍手)。改めて、今までも本当にありがとうございました!

スピーチ後には、全メンバーがステージに登場し、ひとりひとり松田に花を手渡ししていく。五期生の大野愛実は、「クリフハンガー」でセンターに選ばれた後、松田に元気づけられたことに感謝。松田からは、「大丈夫

夫だよ、大野愛実氏。頼んだよほんとに」と、新センターへの励ましの言葉がおくられた。

四期生の山下葉留花は「ラブレター」を用意。さまざまなことに挑戦してきた松田の弟子として、「これから師匠のようになるとい目標を掲げて、たくさんチャレンジしていきたいと思ひます!」と抱負を語つた。

三期生の山口陽世は、松田と「このつばる」というコンビ名を名乗っている仲。松田にとって最後の参加となった昨年のツアーで、長く話した思い出を涙ながらに語つた。

二期生の金村美玖は、「私は今、ハスラずに(格好をつけずに)本心を言おうと思ひます」と前置きしてから、「このちゃんが大好きです。そして尊敬しています」と伝えた。

最後に小坂菜緒が松田の前に立つと、ふたりはしばらく見つめ合つて涙を流す。小坂は、グループに加入した頃、関西から松田と同じ新幹線に乗って東京に通つていた思い出を語る。そして「日向坂にたくさん夢を見させてくれて、ありがとうございました。日向坂の一番の功労者だと思ひます」と8年半の活動を労つた。



とが、松田に元気づけられたことに感謝。松田からは、「大丈夫

